

令和6年度 学校評価アンケート結果と考察

日頃から本校の教育に対してご理解、ご協力をいただきありがとうございます。また、令和6年度学校に関するアンケートへのご回答ありがとうございました。結果と分析について報告します。いただいた貴重なご意見を、今後の学校運営に生かしていきます。

設問1: (わたし・お子さん・児童)は、はっきりした声で返事や挨拶をしている。

	児童		保護者		教職員	
回答1 そう思う	109	42%	12	44%	5	24%
回答2 少しそう思う	111	42%	103	37%	12	57%
回答3 あまり思わない	37	14%	50	18%	4	19%
回答4 思わない	5	2%	6	2%	0	0%

児童・保護者・教職員とも8割以上が肯定的な回答だった。一方で「あまり思わない」という回答も一定数見られる。教職員が率先垂範することで、今後も元氣な返事や挨拶をかわす環境を整えていきたい。

設問2: (わたし・お子さん・児童)は、きまりや時間を守って生活している。

	児童		保護者		教職員	
回答1 そう思う	90	34%	111	39%	8	38%
回答2 少しそう思う	137	42%	119	42%	12	57%
回答3 あまり思わない	27	10%	48	17%	1	5%
回答4 思わない	8	3%	4	1%	0	0%

肯定的な回答が多数を占めた。特に教職員においては、ほとんど肯定的な回答だった。児童会を中心とした校内での呼びかけや活動のお陰もあり、ルールを守って行動できる児童が多いことがわかる。

設問3: (わたし・お子さん・児童)は、箸や鉛筆を正しく持つことができる。

	児童		保護者		教職員	
回答1 そう思う	172	66%	122	43%	0	0%
回答2 少しそう思う	57	22%	110	39%	15	71%
回答3 あまり思わない	25	10%	42	15%	6	29%
回答4 思わない	8	3%	8	3%	0	0%

基本的な生活習慣や学習習慣の習得について質問した。箸や鉛筆の持ち方について、児童や保護者が感じているよりも、教職員は課題を感じているという結果である。

設問4: (わたし・お子さん・児童)は、誰とでも仲良く協力して行動し、いじめに関わることはない。

	児童		保護者		教職員	
回答1 そう思う	143	55%	178	63%	9	43%
回答2 少しそう思う	92	35%	96	34%	10	48%
回答3 あまり思わない	20	8%	7	2%	2	10%
回答4 思わない	7	3%	1	0%	0	0%

いじめゼロ集会の開催、道徳等での人権学習、学校生活アンケートや面談の実施等を通して、トラブルを未然に防いだり仲間づくりについて考える機会を設けている。誰もが仲良く過ごし、集中して学習に取り組むことができるように、今後も丁寧に指導していきたい。

設問5: (わたし・お子さん・児童)は、家や学校で読書をしている。

	児童		保護者		教職員	
回答1 そう思う	89	34%	71	25%	10	48%
回答2 少しそう思う	63	24%	85	30%	10	48%
回答3 あまり思わない	65	25%	90	32%	0	0%
回答4 思わない	45	17%	36	13%	1	5%

本校では、毎朝8時から8時10分を読書タイムと設定し、読書に親しむ時間を確保している。教室にある学級文庫や、図書室から借りた本、市の図書館から配られるうぐいす文庫を活用して、読書活動を推進している。
教職員の回答と比べて児童や保護者から否定的な意見が多かったのは、家庭での読書時間が少ないことが一因ではないかと考えられる。

設問6: (わたし・お子さん・児童)は、授業中、先生の話をよく聞いている。

	児童		保護者		教職員	
回答1 そう思う	146	56%	104	37%	5	24%
回答2 少しそう思う	97	37%	124	44%	14	67%
回答3 あまり思わない	15	6%	49	17%	2	10%
回答4 思わない	4	2%	5	2%	0	0%

肯定的な回答が8割を超えた。どのクラスも授業に集中できている児童が多く、前向きに学習に取り組んでいる。

設問7: (わたし・お子さん・児童)は、わかるまで粘り強く課題に取り組んでいる。

	児童		保護者		教職員	
回答1 そう思う	114	44%	74	26%	8	38%
回答2 少しそう思う	134	51%	119	42%	11	52%
回答3 あまり思わない	9	3%	78	28%	2	10%
回答4 思わない	5	2%	11	4%	0	0%

設問6と比べ、保護者はやや否定的な意見が多かった。児童が粘り強く頑張っていると感じている教職員が多く、児童の自己肯定感も高い。授業参観や学校日より、学年日より等を通して、行事のみならず、学習面での頑張りについても保護者に伝えられるよう、内容の充実を図っていきたい。

設問8: (わたし・児童)は、授業中にすすんで発表している。

	児童				教職員	
回答1 そう思う	72	27%			4	19%
回答2 少しそう思う	104	40%			12	57%
回答3 あまり思わない	62	24%			3	14%
回答4 思わない	24	9%			2	10%

児童は、全体的には肯定的な回答が多いがやや分散している。すすんで発表する場面は、クラス全体の前で挙手する場面に限らず、グループ活動やペア活動で取り入れることもできる。全体の前で発表することは苦手と感じる児童もいるため、仲間と学びを深める活動を多く設定して、自分の気持ちや考えを伝え合うことができる児童を育成していきたい。

設問9: (わたし・お子さん・児童)は、学校の宿題や家庭学習によく取り組んでいる。

	児童		保護者		教職員	
回答1 そう思う	129	49%	108	38%	5	24%
回答2 少しそう思う	96	37%	110	39%	15	71%
回答3 あまり思わない	27	10%	51	18%	0	0%
回答4 思わない	10	4%	13	5%	1	5%

宿題や家庭学習についての取り組みに対する回答は、おおそ肯定的である。しかし、児童や保護者の回答では否定的な意見も一定数ある。現在、家庭学習強化週間を設定したり手本となる学習方法のノートを掲示したりして、自分から学習に向かうことができるように指導している。この取組を今後も継続していきたい。

設問10: (わたし・児童)は、元気に歌を歌っている。

	児童		保護者		教職員	
回答1 そう思う	150	57%			7	33%
回答2 少しそう思う	71	27%			12	57%
回答3 あまり思わない	29	11%			2	10%
回答4 思わない	12	5%			0	0%

本校では、年間を通して毎月の歌を設定し、朝の会で歌っている。元気に歌っている児童が多く、1日の良いスタートを切れているクラスが多い。ご家庭でも「今月の歌は何?」と、話題にしてみてください。

設問11: (わたし・お子さん・児童)は、家や学校で、ていねいに掃除をしている。

	児童		保護者		教職員	
回答1 そう思う	143	55%	65	23%	12	57%
回答2 少しそう思う	94	36%	126	45%	9	43%
回答3 あまり思わない	15	6%	79	28%	0	0%
回答4 思わない	10	4%	12	4%	0	0%

学校の清掃活動には、大変よく取り組んでいる。年末の大掃除では、日頃できない隅々まで丁寧に清掃活動する児童が多かった。指導時間いっぱい活動する児童が多い。

設問12: (わたし・お子さん・児童)は、よく運動や外遊びをしている。

	児童		保護者		教職員	
回答1 そう思う	173	66%	152	54%	11	52%
回答2 少しそう思う	61	23%	73	26%	10	48%
回答3 あまり思わない	16	6%	46	16%	0	0%
回答4 思わない	12	5%	11	4%	0	0%

業間休みや昼休みになると、駆け足でグラウンドへ向かい、鬼ごっこ、かけっこ、ブランコ、縄跳び、落ち葉拾い、ボール運動などで楽しく活動している児童が多くみられる。教職員も一緒に走り回っている。体力づくり・健康な体づくりともに、仲間づくりにも大切な時間とらえている。

設問13: (わたし・お子さん・児童)は、健康や安全に気をつけている。

	児童		保護者		教職員	
回答1 そう思う	162	62%	125	44%	6	29%
回答2 少しそう思う	77	29%	124	44%	14	67%
回答3 あまり思わない	16	6%	28	10%	1	5%
回答4 思わない	7	3%	5	2%	0	0%

設問14にあるように、積極的に体を動かして元気に活動している児童が多い。安全への意識を高めることは、児童だけでなく職員にも大切なことである。児童へ指導することはもちろんのこと、我々教職員が意識して行動することで、事故の未然防止に努めていきたい。

設問14: 学校(教師)は、子どもたちにわかりやすい授業を行っている。

	児童		保護者		教職員	
回答1 そう思う	208	79%	184	65%	10	48%
回答2 少しそう思う	54	21%	93	33%	10	48%
回答3 あまり思わない	0	0%	5	2%	1	5%
回答4 思わない	0	0%	0	0%	0	0%

児童や保護者から肯定的なご意見をいただいた。これを励みに、今後も、丁寧な授業準備、工夫した活動を心がけ、子どもたちがわかる授業を展開できるように努めていきたい。

設問15: 学校(教師)は、(児童・子どもたち)ひとりひとりの教育的ニーズに応じて、きめ細かく指導している。

	児童		保護者		教職員	
回答1 そう思う	197	75%	147	52%	11	52%
回答2 少しそう思う	52	20%	114	40%	9	43%
回答3 あまり思わない	8	3%	21	7%	1	5%
回答4 思わない	5	2%	0	0%	0	0%

お子さんひとりひとりに対する教育的ニーズは、発達段階において変化していくものと考ええる。その時々のお子様のニーズをつかんで対応できるように、今後も児童理解に努めていく。

設問16: 学校(教師)は、電子黒板や一人一台端末、デジタル教科書の活用等、ICTの活用にも努めている。

	児童		保護者		教職員	
回答1 そう思う	142	54%	177	63%	15	71%
回答2 少しそう思う	76	29%	92	33%	6	29%
回答3 あまり思わない	32	12%	12	4%	0	0%
回答4 思わない	12	5%	1	0%	0	0%

今年度、4～6年生の教室には電子黒板が設置され、授業や学級活動等で活用している。1～3年生も、端末を活用した授業を積極的に取り入れている。学校だよりや学年だより等を通して、授業で制作した物や学習の様子について、今後も積極的に発信していきたい。

設問17:学校(教師)は、子どもたちや保護者の話に耳を傾け、児童の立場に立って考えている。

			保護者		教職員	
回答1 そう思う			163	58%	14	67%
回答2 少しそう思う			102	36%	6	29%
回答3 あまり思わない			13	5%	1	5%
回答4 思わない			4	1%	0	0%

保護者の皆さんから肯定的な意見を多くいただいた。今後も連絡帳やアンケート等とおしてお子さんの様子を見守りながら、児童理解に努めていきたい。困ったことや気になることがあれば、今後も連絡帳や電話連絡等を通して学校までお問い合わせください。

設問18:学校(教師)は、(児童・子どもたち)に命の大切さや思いやりについて指導し、いじめ対策に取り組んでいる。

			保護者		教職員	
回答1 そう思う			155	55%	17	81%
回答2 少しそう思う			106	38%	3	14%
回答3 あまり思わない			18	6%	1	5%
回答4 思わない			3	1%	0	0%

命の大切さや思いやりに対する指導は、いじめ防止につながる重要な指導項目であるため、全教職員で日常から取り組む必要がある。全教育活動において、命の大切さや思いやりのある行動ができるように指導していく。

設問19:学校(教師)は、体力の向上や食育・保健指導に取り組んでいる。

			保護者		教職員	
回答1 そう思う			161	57%	11	52%
回答2 少しそう思う			108	38%	10	48%
回答3 あまり思わない			12	4%	0	0%
回答4 思わない			1	0%	0	0%

食育や保健に関する指導項目は、お子さんが健全に成長するために必要な内容であるため、今後も丁寧な指導を心がけていきたい。

設問20:学校(教師)は、(児童・子どもたち)や保護者が学校生活(学習・生活・友達関係等)で困ったり悩んだりしている時は、すぐに対応している。

	児童		保護者		教職員	
回答1 そう思う	199	76%	173	61%	17	81%
回答2 少しそう思う	52	20%	94	33%	3	14%
回答3 あまり思わない	7	3%	14	5%	1	5%
回答4 思わない	4	2%	1	0%	0	0%

全体的に肯定的な意見が多かった。どの児童に対しても、困った時には話を聞いたり、悩みを受け止めたりしながら必要に応じて対応できるように、日頃から児童や保護者との信頼関係の構築に努めていく。

設問21:学校(教師)は、(児童・子どもたち)の良いところや努力していることを積極的に認め、良くない行動は適切に指導している。

	児童		保護者		教職員	
回答1 そう思う	211	81%	182	65%	16	76%
回答2 少しそう思う	48	18%	90	32%	4	19%
回答3 あまり思わない	3	1%	9	3%	1	5%
回答4 思わない	0	0%	1	0%	0	0%

本校の生徒指導の方針として、良いことを積極的に認め、良くない言動については、丁寧に理由を伝えて同じ間違いをしないように指導することを心掛けている。今後も、引き続きご家庭と連携して指導や助言に努めていきたい。

設問22:学校(教師)は、学習内容や(児童・子どもたち)の様子を、面談や電話連絡、学校だよりや学年だよりなどで知らせている。

			保護者		教職員	
回答1 そう思う			188	67%	13	62%
回答2 少しそう思う			84	30%	8	38%
回答3 あまり思わない			9	3%	0	0%
回答4 思わない			1	0%	0	0%

学校だよりや学年だよりは、さくら連絡網を活用してカラーで配信し、内容の充実に努めている。個人情報取り扱いに注意しながら、児童の頑張りを丁寧に発信していく。

設問23:学校(教師)は、教育目標や達成に向けた方針について、保護者や地域に十分に説明している。

			保護者		教職員	
回答1 そう思う			134	48%	9	43%
回答2 少しそう思う			114	40%	11	52%
回答3 あまり思わない			34	12%	1	5%
回答4 思わない			0	0%	0	0%

保護者は、8割以上が肯定的な回答だった。今後も、具体的な方策を示しながら、学校教育目標を達成できるように職員一同全力で取り組む。

設問24:学校(教師)は、家庭と地域とのつながりを大切に活動をしている。

			保護者		教職員	
回答1 そう思う			134	48%	15	71%
回答2 少しそう思う			114	40%	6	29%
回答3 あまり思わない			32	11%	0	0%
回答4 思わない			2	1%	0	0%

本校の運動会は、地域連携をねらいの1つとして、家族や地域の方々と楽しめることを目指している。また、秋の資源回収では、PTAや地区長さんたちの協力のおかげで毎年継続して活動することができている。また、家庭教育学級では、毎年講演会を企画しており、今年は6年親子を対象に陶芸教室を開催した。今後も、行事を精選しながら、残すべきものは継承し、家庭や地域とのつながりを大切に活動を展開していきたい。

設問25:学校は、安心安全な環境が整備されている。

			保護者		教職員		全ての児童が、安心安全に生活できるように環境を整えることが、私たち教職員の使命と考えている。今に満足することなく、常に安心安全に意識して教育活動を行うように努める。
回答1 そう思う			143	51%	12	57%	
回答2 少し思う			113	40%	9	43%	
回答3 あまり思わない			24	9%	0	0%	
回答4 思わない			2	1%	0	0%	

設問26:学校(教師)は、(児童・子どもたち)と向き合う時間を確保している。※理由

			保護者		教職員		日頃より保護者の皆様や地域の方々からは、働き方改革へご理解とご協力をいただき、ありがたく感じている。教職員の働き方改革の目的は、「子どもたちと向き合う時間の確保」であることを再認識して、子どもたちとの時間を大切にできるように、指導力の向上、仕事の精選に努めていきたい。
回答1 そう思う			137	48%	9	36%	
回答2 少し思う			121	42%	9	36%	
回答3 あまり思わない			13	5%	3	12%	
回答4 思わない			2	1%	0	0%	

設問27:学校(教師)は、教材選定において保護者負担を軽減することを意識している。

			保護者		職員		
回答1 そう思う			132	47%	13	62%	
回答2 少し思う			116	41%	6	29%	
回答3 あまり思わない			29	10%	2	10%	
回答4 思わない			5	2%	0	0%	

設問28:(わたし・児童・お子さん)は、成東小学校の生活に満足している。

	児童		保護者		教職員		9割以上の児童が、成東小学校の生活に満足していると回答した。大変うれしい結果である。まだ満足できていない児童が好転するように、一人一人と向き合い、今後の学校教育活動を工夫改善していきたい。
回答1 十分満足している	196	75%	157	56%	8	38%	
回答2 おおよそ満足している	46	18%	108	38%	13	62%	
回答3 あまり満足していない	17	7%	13	5%	0	0%	
回答4 満足していない	3	1%	4	1%	0	0%	

※教育活動全般についていただいたご意見の中で、主なものについて回答します。

Q.運動会は秋は残暑厳しく、台風心配もあるので、春の方がいいのではないかと考えています。

A.1学期は、新しい学年学級での生活に慣れるまでに時間がかかったり、6年生は県外社会科見学、5年生は田植えや宿泊学習といった校外学習が計画されていて、その準備にも時間が必要です。そのため、本校では、人間関係が構築され、学びが深まる秋に運動会を計画しています。来年度も同様の日程を予定していますので、ご理解ください。

Q.タブレットを持ち帰ってきた時に、図鑑を見ていた。未読の部分をクリックしていたが、内容を読まずに、未読→既読にしていっていった。1/10→5/10ととにかくクリア(既読)するようにしていたり、なぜか6年生の問題をやっていてわからない!と怒っていたりして、果たしてコレで良いのか?使用方法をどう教わってきたんだ?と感じた。

A.現在の学習指導要領では、一人一台端末や電子黒板を活用しながら、一人一人が目的やねらいをもって主体的に学習に取り組めることが目標と示されています。そのため、学校でも活用し、その後の学習を家庭でもできるように指導していますが、実際の取組を確認するには、チェックが必要です。ご家庭でも声かけをしたり、時には一緒に取り組んだりしながら、お子さんの取組を見守っていただけるとありがたいです。

Q.12月のPTAイベントは子供が楽しく楽しかったようです。親としても親子で楽しめるイベントで凄く良いと思うので、継続して頂きたいです。

A.うれしいご意見をありがとうございます。現在行っているPTAイベントは、コロナ後に、保護者の皆さんが子どもたちと一緒に楽しめる時間を作ろうと考えて、PTA本部役員さんの企画のもとクラス役員さんたちが協力して進めているイベントです。来年度も同様に計画していきますので、ご参加できる方は、お子さん達と楽しい時間を過ごしていただけるありがたいです。

いただいた貴重なご意見は、来年度の学校教育活動の参考にさせていただきます。

今後とも、ご理解とご協力の程よろしく申し上げます。